

第35回定期地本大会発言に基づく 要求申し入れを行う(申1号)

名古屋地本は7月14日、「第35回定期地本大会発言に基づく改善要求について」(申1号)を提出しました。

職場における切実な改善要求と、これまでも解決しきれていない諸問題の解決に向け『1. 感染症対策について2. 労使関係について3. 勤務時間のとらえ方について4. 60歳以降の労働条件等について5. 運転規制の取り扱いについて6. 教育・研修について7. 健康管理について8. 労務管理について9. 駅、車両設備、沿線環境の整備について10. ダイヤ改正について11. 営業取り扱いについて』の11項目併せて49の要求を申し入れました。

*詳しくは、「第35回定期地本大会発言に基づく改善要求について」(申1号)を参照
名古屋地本は要求実現のために、最大限取り組みを進めていきます。

ワンマン列車拡大による 車掌要員減に関する申し入れ(申2号)

また同日、ワンマン運転拡大に伴い過去に例の無い大規模な車掌の要員減に対して、問題が山積しておりこのままなし崩し的に運用が開始されれば、乗客及び社員にとって不幸な事象が起りかねないとして以下の申し入れを行いました。

1. 名古屋駅駅輸送体制見直しが12月に行われようとしている。更に来春ダイヤ改正からワンマン列車拡大と矢継ぎ早に施策を行うのは旅客、社員共に混乱することが想定される。施策を1年先送りとし組合員への説明をすること。
2. ホームドアが整備されないまま3両編成以上のワンマン列車運行はやめること。
3. 地震・津波対応、車内での凶悪犯罪、急病人対応等、不測の事態への対応方について明らかにすること。
4. 過去の業務委員会で会社は、3両編成以上のワンマン列車のAIカメラが故障した場合は車掌乗務列車にするとしている。計画通り△80を行って急遽の乗務ができる車掌が確保できるのか明らかにすること。
5. 車掌△80の社員運用を明らかにすること。